

水木しげる氏 表紙絵

＝人魂も鬼太郎大好き＝

表紙絵：水木しげる

- | | | |
|---------------------------------|-------|-----|
| ・ 特集：「第3次調布市子ども読書活動推進計画」を策定しました | | 2～5 |
| ・ FC東京選手の私のすすめるこの一冊 2019 | | 6 |
| ・ 都立神代高等学校の生徒さんがポスターを描いてくれました | | 7 |
| ・ 郷土の歴史と伝承 | | 8 |

「第3次調布市子ども読書活動推進計画」を策定しました

読書は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていくうえで欠くことのできないものです。調布市では、子どもの読書環境を計画的に整備し、子どもの発達段階に応じた読書活動を支援するために、調布市の施策の指針となる計画を策定し、数年ごとに見直しを図っています。

このたび「第3次調布市子ども読書活動推進計画」を策定しましたので、計画の4つの目標と図書館の取組を紹介します。また、「第3次調布市子ども読書活動推進計画」では、図書館の取組のほか、学校や行政、子ども関連施設等の取組についても記載しています。

目標1 子どもの発達段階に応じた読書環境の整備・充実

中央図書館と10の分館の子ども室には、絵本・読み物・自然科学の本など、あらゆるジャンルの本が揃えてあります。乳幼児には「聞く読書」、小学生には「何度も読みたくなる本との出会い」、中・高校生には「読書の幅を広げる」ため、さまざまな取組を推進しています。

目標2 家庭・地域・学校・行政の連携と相互協力

保育園・幼稚園・児童館・学童クラブ・放課後等デイサービスなどに、団体貸出やリサイクル資料の提供、出張おはなし会を実施しています。また、保健センターの健康診査で絵本のリストを配付したり、「子ども家庭支援センターすこやか」の乳児交流事業や子育て講座事業で、赤ちゃん絵本の紹介をしています。

目標3 子どもの読書活動の普及・啓発

保護者や地域社会の方々に、子どもの読書について理解と関心を深めてもらうため、「絵本の読み聞かせ講座」、「子どもの本に親しむ会」を開催しています。また、読み聞かせや子どもの読書をテーマに、市内各所で出前講座を実施しています。

目標4 読書で生きる力を育む

子どもが「かけがえのない一冊」と出会って読書の喜びを知り、健やかに成長できるよう、本を通して多様な生き方や未知の世界に目を向けて、生きる力、考える力を育むことができるよう、おすすめ本の展示やリストを配布しています。

乳幼児「聞く読書」

乳幼児期の子どもには、保護者がわらべうたを歌ったり、絵本の読み聞かせをして、言葉や読書への興味を持たせてあげましょう。

★ご利用ください おすすめ絵本のリスト

「赤ちゃんは絵本がだいすき！」

赤ちゃんから楽しめる、おすすめの絵本を紹介しています。

「今日のおはなしなーに？」

読み聞かせのポイントをのせた小冊子です。

読み聞かせのおすすめの絵本も紹介しています。

「このほんよんで！ 第2版」

図書館が発行している乳幼児向けの推薦図書リストです。

有償で頒布しています。

「子どものほん」（幼児）

前年に出版された本の中から選んだ推薦図書のリストです。



中央図書館 0・1・2歳のおはなし会の様子

★ご参加ください

0・1・2歳のおはなし会

手遊びや布の絵本をプログラムに取り入れた0・1・2歳児と保護者を対象にしたおはなし会を全館で実施しています。

(詳細は各館へお問い合わせください。)

★調布市子ども家庭支援センターすこやかとの連携

調布市子ども家庭支援センター乳児交流事業

コロコロパンダ

調布市子ども家庭支援センターすこやかと連携して、親子で絵本に親しむための事業を実施しています。



コロコロパンダの様子

小学生「何度も読みたくなる本との出会い」

小学生には「何度も読みたくなる本」と出会えるような環境を整備することが大切です。かけがえのない一冊との出会いが読書継続の鍵となります。

★ご利用ください おすすめ本のリスト

「1年生にすすめる本」

保護者と一緒楽しんでほしい1年生向き推薦図書リストです。

「子どものほん」（1・2年生）（3・4年生）（5・6年生）

前年に出版された本の中から選んだ推薦図書のリストです。

「小学生にすすめる本」

図書館が発行している小学生向きの推薦図書リストです。
有償で頒布しています。

「夏休みにすすめる本」（1・2年生）（3・4年生）（5・6年生）

市立小学校の先生方と協力して作成しているリストです。



★小学生のための行事



小学生読書会の様子

おはなし会

子どもたちにおはなしの世界を楽しんでもらうことを目的に、おはなし会を全館で実施しています。
（詳細は各館へお問い合わせください。）

小学生読書会

小学4年生から6年生までを対象に、本の世界の楽しさを知ってもらうため、毎月テーマを決め、幅広い分野の本の紹介や読み聞かせ、工作などを実施しています。

★思わず手に取りたくなる展示

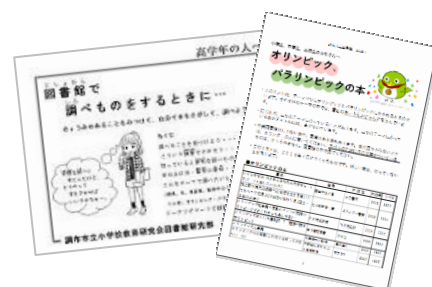
子ども室の楽しい雰囲気づくりと、図書館の推薦図書を市民に手に取ってもらいやすくするため、季節を感じられる本の展示や推薦図書リストに掲載した本の展示など、各種展示を継続的に行っています。また、中央図書館と分館の展示の様子は図書館ホームページで紹介しています。



神代分館の展示の様子

★知的好奇心を育む 知りたい心を応援します

「オリンピック・パラリンピックの本」、「調布の地図のしらべ方」、「調布の歴史のしらべ方」といった問い合わせの多いテーマに関するリストやパスファインダー、「図書館で調べものをするとき」（中学年）（高学年）といった調べ学習に役立つ本と調べ方の紹介冊子を発行し、子どもたちの知りたい心を支援しています。



中学生・高校生「読書の幅を広げる」

中学生・高校生世代と図書館をつなぐための事業を実施したり，高校生が薦める本を展示したりして，読書に関心を持つきっかけづくりをしています。

★ご利用ください おすすめ本のリスト

「中学生にすすめる本」

前年に出版された本の中から選んだ推薦図書のリストです



★中学生・高校生が発行している通信です

「ぶちねこ便」，「Prime～高校生の今～」

中学生，高校生世代の交流と図書館利用の促進を目的に，中学生による通信「ぶちねこ便」（毎月発行）と，高校生による通信「Prime～高校生の今～」（年4回発行）を発行しています。



※都立神代高等学校図書委員が作成したリスト「本の森」の展示については，p. 7で紹介しています。

大人「家庭・地域での読書推進」

★小学校で読み聞かせをする方のために

「読み聞かせにすすめる本～小学生向き～ 改訂版」

小学生への読み聞かせにおすすめの絵本や読み物を掲載しています。



★読み聞かせに関心のある方のために

絵本の読み聞かせ講座

読み聞かせのポイントや，どのような絵本が読み聞かせに向くのかなどについて，全3回講座を実施しています。

読み聞かせ交流会

市内の幼稚園・学校・児童館などで子どもたちへの絵本の読み聞かせを行っている市民の交流を図るため，また，読み聞かせに興味を持っている方への情報提供の場とするために，交流会を開催しています。

★子どもの本と読書に関心のある方のために

子どもの本に親しむ会

絵本や物語の楽しさを味わい，子どもの読書の大切さを市民とともに考えるため，講師を招いて講演会を開催しています。

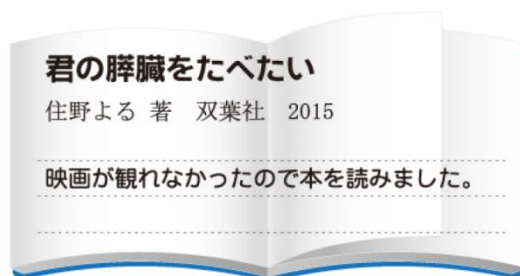
『第3次調布市子ども読書活動推進計画』は市内各図書館，HPで全文を見ることが出来ます。また，ご希望の方には冊子を差し上げます。

F C 東京選手の 私のすすめるこの一冊 2019



～ 図書館からスタジアムへ、スタジアムから図書館へ。～

調布市は平成11年から「F C 東京等とのパートナーシップによるスポーツ振興等の推進」を基本計画の中で掲げ、味の素スタジアム（調布市西町）をホームグラウンドとしているサッカーチーム、F C 東京を応援しています。



本は面白いですね。

ニックネーム
たけ



15 MF 久保 建英（くぼ たけふさ）選手

調布市立図書館でも、地域ゆかりのチームや選手を通じてスポーツの振興と読書の推進をはかりたいと考え、図書館とF C 東京が連携して本冊子を作成しました。

今年で6回目の発行になります。

お気に入りの選手がどんな一冊を紹介しているのか、ぜひご覧ください。

小冊子は調布市立図書館全館で無料配布しており、図書館ホームページでもご覧いただけます。

中央図書館4階のF C 東京応援展示コーナーでは、掲載した本の展示と貸出をしていますのでどうぞお気軽にご来館ください。

4月14日（日）味の素スタジアムで行われたF C 東京対鹿島アントラーズの試合前、青赤パークにて冊子の配布を行いました。サポーターの方からも大変好評で、予定よりも早く配布が終了してしまうほどでした。

配布の告知や当日の様子をF C 東京応援番組「F.C. TOKYO COLORS」と「F C 東京ビバパラダイス」に取り上げていただきました。



冊子は調布市立図書館全館で配布しています。
お立ち寄りください。

※写真は中央図書館4階
F C 東京応援展示コーナー



都立神代高等学校の生徒さんが ポスターを描いてくれました



都立神代高等学校の現2年生の生徒さんが、図書館利用マナーの向上と利用促進を呼びかけるポスターを96枚描いてくれました。

作品は1年生の時に美術科の授業で描いたものです。どの作品も完成度が高く、個性豊かな作品ばかりです。高校生の新鮮な感性と視点から描かれています。一枚一枚から生徒のみなさんがそれぞれに図書館に寄せる思いが伝わってきて、思わず見入ってしまいます。

中央図書館の4階・5階の中階段に、9月23日（月）まで掲示しています。ここでは紹介きれないたくさんの作品が並んでおり、圧巻です。ぜひ来館してご覧ください。



♪ 神代高等学校 図書委員の生徒さんのおすすめ本♪ 『本の森』の展示を行いました



都立神代高等学校の図書委員の生徒さんが作成した、おすすめ本のリスト「本の森」に掲載された本の展示を、5月8日（水）から7月21日（日）まで中央図書館の4階で行います。おすすめ本のリスト「本の森」は昨年度に来館された方々から、ぜひ配付用をつくってほしいというご要望をいただき、今回は配付用を図書館で用意しました。

普段から本に接している図書委員の皆さんならではの、名作からエンターテインメントまで、幅広いジャンルの本が選ばれています。書かれた紹介文には豊かな感性がキラリと光ります。ぜひご活用ください。

手織り木綿の時代

関 口 宣 明

調布には、木綿の着物をふだん着ていたころ（江戸時代から大正終わりまで）の言い伝えがあります。秋になってコオロギが鳴き出すと、「^{かたさ}肩刺セ ^{すそさ}裾刺セ サムサガクルゾ」と鳴いているように感じたというのです。そして、その音色を聞いたなら、^{てんびんぼう}天秤棒を担いですり切れた着物の肩のところや、穴のあいた裾を、寒くないように針で縫って、冬支度を始めたといひます。



天秤棒を担ぐ農夫
（『農具便利論』1822年）

そのころは、自給自足のくらしが基本だったので、女性たちは農業や子育ての合間に、着物を^{はたお}機織りして作らなければなら

りませんでした。そこで、少しでも着物を長持ちさせるように、布の切れ端も大事にとっておき、ほころびた部分を^{つくろ}繕っていました。

1. 着物ができるまで

布を織るためには、繊維をほぐした綿を手に入れ、糸車で糸を^{つむ}紡ぎ、機織りするという作業が必要でした。そして、織った布を手縫いして着物に仕立てることで、はじめて^{そで}袖に手をとることができるのです。

^{しもいしわら}下石原村（現在の下石原、小島町の一部を含む）では、男性たちは農業のかたわら、燃料としての^{まき}薪を江戸に売りに行き、江戸からは綿を買ってきました。そして女性たちは、この綿を糸に紡いで、機織りしたということです。木綿は長く使うと繊維が弱くなります。そこで、紡いだ糸は、機織りの前に^{かみふだ}上布田村（現在の小島町などを含む）や入間村にあった「^{いりま}紺屋」で^{こうや}藍染めして丈夫にしました。

2. 苦労した機織り

機織りには、「^{じばた}地機」という織機が使われました。地機は地面に近い位置で座って布を織るもので、^{あしひも}足紐を引いてタテ糸を上下させ、ヨコ糸

をとおす仕組みです。このためあまり能率はあがらず、^{いったん}一反を3日間で織れたらよいとされました。そのころの一反は、大人用一着分の着物が作れる分量で、10mほどの長さです。木綿の着物は、^{こんむじ}紺無地に染めたものが一般的でしたが、^{しまがら}縞柄の織物も織られました。これは何色かに染めた糸を用意して、縞模様を織りだすものです。

時間的にも、物質的にも厳しい条件のなかで、色の配列を工夫した着物は、嫁入り支度としても仕立てられました。こうして手織りの技術も、母から娘へと代々受け継がれてきました。しかし、明治の終わりごろには、^{きかいぼうせき}機械紡績の糸が出回り、糸の手紡ぎは行われなくなり、さらに昭和に入ると、機を織る音はほとんど聞けなくなりました。冒頭のコオロギの言い伝えも、一枚の着物を作るために苦労してきた村のくらしを映し出しています。

衣服が豊富になり、「^{だんしゃり}断捨離」という言葉も聞かれる今日、着物の縫い糸をほどいて洗い、糊付けして板に干す「洗い張り」や繕いによる着物の再生も昔話となりました。しかし、このような時代だからこそ、「ものを大切にする心」を培ってきた先人のいとなみを知り、過去との対話を続けることも意味のあることかも知れません。

参考文献：『近世調布の村むら』『調布の動物ばなし』

刊 行 物 番 号

2019-70

図書館だより 第252号

令和 元年6月25日発行 [市内印刷]

発行 調布市立図書館

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

TEL 042-441-6181

<http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/>